***2020年度国際連携タスクフォース活動計画***

　新たな経済連携協定や貿易円滑化協定などの国際取引の枠組みの中で、商取引・金融・生産の情報連携によるビジネスインフラ構築のために、関連タスクフォースと国連CEFACT日本委員会・標準促進委員会と協力して、国連CEFACTおよびアジア地域における国際連携調査研究を行う。

（１）国連CEFACTにおける国際標準化とその普及

・国連CEFACT日本委員会の下、国連CEFACTにおける手法技術PDA、国際サプライチェーンPDA、およびライブラリ管理チームに参加し、日本提案を含む標準の策定・保守と普及に貢献する。出張旅費は一般財団法人日本貿易関係手続簡易化協会が負担する。なお、2020年4月に予定された国連CEFACTフォーラム（ジュネーブ予定）は、コロナ感染症対策のため中止となった。

* 国連CEFACTフォーラム（欧州）2020年10月（未定）

・AFACTを通じ、アジア各国の情報連携電子化状況とその取組みを調査するとともに、国連CEFACT標準に基づくSIPSビジネスインフラの普及を図る。なお、2020年4月に予定されたAFACT中間会議（クアラルンプール：マレーシア）は、コロナ感染症対策のため中止となった。

* AFACT総会（ペナン：マレーシア）　2020年9月（未定）

（２）新技術に対応する国連CEFACTプロジェクト参加

・国連CEFACT標準をユーザーニーズに合わせて展開することを容易にするため、以下のプロジェクトを進める。

* SIPSが主体となって提案したXMLメッセージ構築ガイドライン・プロジェクトは、2020年4月までにガイドラインのドラフトが完成し、2020年中の完成・公開を予定。
* 汎用的な受信確認メッセージ標準化のためのプロジェクトを提案し、2020年中の完成・公開を目指す。
* XMLメッセージ構築ガイドラインに呼応し、ユーザー間で使用する情報項目を決めるための企業間システム協同メカニズム策定のための新プロジェクトを検討する。

・国連CEFACT標準のWeb API化プロジェクトに参加し、将来のWeb-APIベースの企業間情報共有プラットフォームに関わる方針と実装ガイド策定に貢献する。

・SIPS会員より提案予定のAI連携プロジェクトを支援するとともに、今後の実装・活用につき調査研究する。

・サプライチェーンマネージメントにおけるIoTによるアセット・トラッキングの実装につき調査研究する。

